

## No.2870

2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：成川（雅）委員



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



### 本日のプログラム

平成30年5月24日 第2871回

・クラブ協議会

・ソング:「四つのテスト」

### 前回の報告（第2870回例会）

開催日 平成30年5月24日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

### 新会員入会式



**福原 陽司 君**  
 きのくに信用金庫  
 箕島支店 支店長  
 (職業分類:信用金庫)  
 (1960年7月23日生)



成川(守)会長より、福原陽司君の紹介があり、福原君にロータリーのエンブレムが装着されました。

### <会長歓迎の言葉>

本日、入会されました福原君、入会おめでとうございます。田端さんの後任として、会員一同、首を長くしてお待ちしていました。

ロータリーのエンブレムを持っている人は、信頼できる人です。ロータリーは、参加することから、始まります。お忙しいと思いますが、例会をはじめいろんな活動にぜひ参加してください。よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様、今日、福原さんをお迎えし、今日から会員

### 2017-2018年度クラブ方針

### ロータリーを知ろう

～温故知新～

### 次回のお知らせ

平成30年5月31日 第2872回

・会員卓話: 児嶋 正人 君

「 確認中 」

・ソング:「日も風も星も」



は31名となります。今年度の目標は33名です。あと二人です。中村委員長、よろしくお願い申し上げます。

### 米山功労クラブ表彰



ロータリー米山記念奨学会より、有田ロータリークラブに第27回の米山功労クラブの感謝状が届きましたので松村米山記念奨学会委員長より、成川(守)会長へ授与されました。



### ニコニコ箱の報告 (川口副SAA)

成川(守)君: 上野山栄作クラブ会長エレクト、次年度の抱負をよろしくお願い申し上げます。当クラブが米山功労クラブ感謝状をいただきました。福原君、入会おめでとうございます。

橋本君: 上野山栄作クラブ会長エレクト、次年度の会長のための時間、よろしくお願いいたします。

中元君: 上野山栄作クラブエレクト、次年度会長のための時間、よろしくお願いいたします。

中村君:上野山会長エレクト様、成川会長の後はやりたく  
いとは思いますが、1年間はりきって行きましょう。  
応援しています。

宮井君:上野山栄作君、次期会長よろしくお願ひ致します。

児嶋君:上野山栄作君、卓話楽しみにしています。

上野山(栄)君:福原さん、ご入会おめでとございます。  
うれしく思います、本日、次年度会長の時間を頂きあり  
がとございます。

橋爪(誠)君:もうすぐですね。栄作さん。栄作節、炸裂年  
度でよろしく!がんばって下さい。協力します。福原支  
店長、ご入会おめでとございます。今後ともどうぞよ  
ろしくお願ひいたします。

脇村君:上野山栄作会長エレクト、次年度会長のための  
時間、よろしくお願ひします。

石垣(洋)君:上野山栄作会長エレクト、次年度会長のた  
めの時間、よろしくお願ひします。

岩橋君:上野山(栄)次年度会長、がんばって下さい。

木本君:上野山栄作様、本日は宜しくお願ひ致します。  
福原さん、ご入会おめでとございます。

児島君:上野山エレクトさん、抱負拝聴します。福原さ  
ん、入会おめでと。

岩本君:上野山会長エレクト、本日の卓話楽しみにして  
います。

上野山(英)君:上野山(栄)会長エレクト様、いよいよ今  
日から次年度スタートですね。頑張ってください。

菅原君:福原さん、有田ロータリークラブへのご入会おめ  
でとございます。

橋爪(正)君:上野山栄作さん、次年度会長の時間、聞け  
ずに申し訳ありません。早退します。

松村君:次年度会長のための時間、楽しみにしていま  
す。

井上君:福原様、ようこそ有田RCへ。

應地君:栄作さん、いよいよですね。

川口君:本日の次年度会長のための時間、上野山会長  
エレクト宜しくお願ひ致します。

今日は、「次期会長のた  
めの時間」です。既に、上野山  
会長エレクトは次年度の準備  
は万端です。どうぞよろしくお  
願ひします。

ロータリー章典によると、クラ  
ブ会長(President)は、「クラブ  
を統括し、クラブ会合及び理  
事会の会合において議長を  
務め、各委員会の職権上の委員となり付随する任務を行  
う。」とあります。



**クラブ会長の資格(Qualifications)**は、会長は、会長エ  
レクトである間に、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協  
議会に必ず出席しなければならない。さらに、会長は以  
下の条件を備えているべきである。

- 1)クラブ全体を指揮し、会員からの支援を集めるのに必  
要なスキルを備えている
- 2)クラブの活動を遂行し、会員を指揮するのに必要な  
時間と労力を捧げることができる
- 3)会長の指名に先立つ少なくとも1年間、そのクラブの  
会員である(ガバナーにより例外が認められた場合を  
除く)、および、クラブの理事、主要な委員会の委員、  
幹事のいずれかを務めた経験がある
- 4)少なくとも1回の地区大会または国際大会に出席した  
経験がある
- 5)クラブの定款と細則を理解している

●**クラブ会長の任務(Duties of Club President)**は、  
クラブ会長には以下の任務がある。

- 1.クラブの諸会合の議長を務める。
- 2.各例会を入念に立案し、開会と閉会の時間を厳守す  
るよう配慮する。
- 3.クラブ理事会の定例会合(少なくとも月に1回)の議長  
を務める。
- 4.任務にふさわしい人をクラブ委員会委員長および委  
員に任命する。
- 5.各委員会がそれぞれ明確な目標を持ち、それぞれの  
働きが調和するようにする。
- 6.地区大会に出席する。
- 7.クラブ内および地区内のロータリーの諸問題に関して  
ガバナーおよびガバナー補佐と協力する。
- 8.例年の財務調査はもちろん、クラブ予算の編成およ  
び会計事務の完全な履行を監督する。
- 9.クラブが包括的な研修プログラムを実施するよう確認  
し、必要であれば、研修を行うクラブ研修リーダーを任  
命してもよい。
- 10.ガバナー月信、その他事務局とガバナーからの通  
信、刊行物などから得られる重要な情報が確実にクラ  
ブ会員に伝達されるよう確認する。
- 11.毎年6月に、クラブの財政状態および当該年度のクラ  
ブの目標達成状況について、総括的な報告をクラブ  
に提出する。
- 12.任期が終わる前に、会長エレクトと協力して、すべ  
ての重要記録、文書、財務事項を含め、任務の引継ぎ

## 出席報告 (井上例会運営委員)

本日の会員数30名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数27名

(出席規定免除会員9名)

90.00%

4/15 85.19%

MU:成川(雅)君

## 会長の時間 (成川(守)会長)

13日の櫻木の手入れと溝掃除は、残念ながら雨のため  
中止となりました。又、植樹は、理事会で再度協議の結  
果、「ウエノ公園に櫻木を植える」ことになりました。後ほ  
ど、委員会報告で、井上委員長からお伝えしていただき  
ます。30本用意していますから、皆様、一人1本の植樹を  
お願ひします。

が円滑に行われるようにする。

13. 新たな管理体制が成功し、管理運営の継続性を保つため、クラブの新旧理事の合同会合を開催する(2013年10月理事会会合、決定31号)。

一方、幹事(クラブ)(Club Secretary)は、

クラブ幹事は各クラブ細則の定めるところに従って選任され会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会及び委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録を作ってこれを保管し、RIへの報告義務などに責任を持つ。2013年規定審議会で幹事は理事となることが決定され、また2014年RI理事会により、2015年1月1日よりクラブ幹事は、新会員と退会会員の氏名を入・退会とも30日以内にRIに報告することが義務づけられた。

と、なっています。

次年度の会長、幹事は、申し分のない方です。よろしくお願ひ申し上げます。

ところで、今日のソングは、「みかんの花咲く丘」でした。童謡を歌うのは久しぶりです。今、まさにみかんの花が咲いています。中元SAA、ありがとうございます。

ロータリーの例会で歌を歌うことになったことは、4月12日のロータリーカレッジで話しました。クラブの親睦の輪を保つのに、効果がありますね。例会では必ずロータリーソングを歌わなくても良いのです。そもそも初期には、ロータリーソングはなかったのですから。田辺東ロータリークラブから送られてきます週報を拝見すると、ほとんど毎週、唱歌を歌っています。

さて、先週も、ポール・ハリスのことを話しましたが、ロータリーカレッジで話しました「GOLDEN STRAND」の最後、「第28章 未来への道」には、次のようなことが書かれていますので、ご紹介致します。

2040年、その日、シカゴ科学産業博物館 the Chicago Museum of Science and Industryは、密閉して封印されたカプセルをシカゴ・ロータリークラブに運び込む予定であります。その中から、1940年代の初頭にロータリークラブの会員によって作られて、博物館に保存されているワイヤ・レコーダーの記録が出てくるのです。

ポール・ハリス、ハリィ・ラグルス、チャーリー・ニュートンや他の有名なロータリアンは、過去を記録し、未来を予測する彼らの声をそのワイヤ・レコーダーに入れているのです。彼らは、一世紀後のロータリーの世界の展望について、予言しているのです。

当時のシカゴクラブのロータリー情報委員長レーランド・ケースは次のように語っています。「当時、私が思い浮かんだことは、一世紀後の人の耳に入れるべき意見を記録しておかないと、すべてが簡単に消え去ってしまうのではないかということでした。何人かの者は余りにも感極まって、言葉につまんで泣きだす者さえいました。」

皆さん！いかがですか？これを聞いてみたいと思いませんか？この席におられる一部の方は、2040年には、多分ロータリーを退会しているでしょう。私も勿論そうです。私は、是非、聞いてみたいものです。しかし、残念ながら、シカゴRCは2040年まで開封しないでしょう。その時に

居られる会員の皆様、退会した我々にその声を届けてください。

### 幹事報告 (橋本幹事)

1. 5/10に開催した第11回定例理事会について

<報告事項2件>

①第3回会長会議について(会長)

②RI会員増強委員会から、会員数に関する重要なお知らせ(会長)

<協議事項9件>

①トロント国際大会の信任状に

ついて(幹事) 信任状をガバナーに委任する【承認】

②地区立法案検討会に対する選挙人の登録について(会長) 5/19開催の地区立法案検討会に成川会長を選挙人として選出【承認】

③ガバナーからの「地区内ロータリアンに呼びかけます～適確・適性な対応の要請～」について(会長) 荒立てるとかえって問題を複雑化するので、無視するのが良い【承認】

④5、6月の例会プログラム(例会運営委員会)【承認】

⑤桜木の手入れについて(社会青少年奉仕委員会) 植樹の件はウエノ公園を候補として再検討。【承認】

⑥4月試算表(会計)【承認】

⑦長期欠席または連続欠席の会員身分の取扱い(情報規定委員会) 次回の例会で会員に説明する【承認】

⑧次年度地区補助金事業について(会長エレクト) 昨年に引き続きミャンマーでの地区補助金事業を実施する【承認】

⑨次年度社会青少年奉仕委員会について(会長エレクト) 60周年記念事業として、地元中学生・高校生によるまちづくり政策提言イベントを行う【承認】

2. 地区より、青少年交換長期派遣学生募集の案内が届いています。社会青少年奉仕委員長に渡しました。

3. ガバナーエレクト事務所から、次年度目標入力についての案内が来ています。次年度会長に渡しました。

### ロータリー友誌 (成川(雅)R広報委員)

#### ロータリーの友誌5月号

##### ★ヨコ組

・P3 RI会長メッセージ 私たちを一つにするビジョン。「ロータリー:変化をもたらす」のテーマを通じて、一つになって行動を起こしましょう。

・P7 青少年交換学生を受け入れる ホストファミリー体験談が載っています。

・P31 米山記念奨学事業50年のあゆみ 関場慶博さん(弘前アップルRC会員) 熱心な米山支援者になる機会について

##### ★タテ組

・P73 夢を現実にする南極で越冬隊員を経験して 塚本健二さん 南極で仕事をするのは夢物語ではなく、自分自身でチャンスをつかむことができるならば実



現する可能性は一気に高まる。ということを強く伝えたい。

- ・P56 卓話の泉 当クラブ会員 中村吉伸君「在宅医療」が掲載。在宅医療の必要性が叫ばれる背景には2025年問題があり、政府は数年前から地域医療構想という新しい医療、介護体制のためのシステムを構築しています。患者に応じたオーダーメイド医療ができるよう手助けする取組が自治体や地域医師会などで進められています。

## 委員会報告

### \* 情報研修委員会 (脇村委員長)

長期または連続欠席の会員身分の取り扱いについては、第1案(現状)もしくは第2案(出席義務規定の免除)のいずれにするかを理事会及び例会にて審議してきましたが決着がつかず、最終的に会員のアンケート調査に持ち込まれました。その結果、会員30名中18名から回答をいただき、第1案、もしくは第2案への賛成がそれぞれ8名、そして残りの2名は採否を棄権と、両案は完全に二分されました。従って、現状を優先させて第2案の提案を取り下げ、長期または連続欠席に伴う会員身分は、従来どおり、定款第15条第4節に従うものと致します。

### \* 社会・青少年奉仕委員会 (井上委員長)

植樹について案内。5/31(木)例会終了後、ウエノ公園

### \* 親睦活動委員会 (橋爪(誠)副委員長)

5/20(日)、親睦ゴルフコンペ、夕食会を開催します。

### \* SAA (中元SAA)

次週5/24よりクールビズを実施します。

### \* 次年度会長 (上野山(栄)会長エレクト)

①予定していました第7回次年度理事会ですが、日程を5/31から6/14の例会終了後に変更します。②本日、例会終了後、次年度委員長会議を開催いたします。

## 次年度会長のための時間

### 上野山 栄作 会長エレクト

早いもので、この有田ロータリークラブへ入会させて頂き、7年半が過ぎました。私は有田川町に生まれ育った身でありながら、この伝統あるクラブに入会をお誘い頂いた事に感謝しています。また、本年60周年という節目に会長を務めさせて頂けることは私にとって、とても光栄な出来事であります。



8年目の私が最近特に思う有田ロータリーの素晴らしい所は「本当の仲間である」ことです。学生時代やJC時代にも多くの絆に恵まれましたが、それらを卓越した絆と感じます。勿論、学ぶべき点は他にも多数ありますが、会員の寛容さ、時には厳しさ、また時には人生のお手本となる、そんな心底信頼しあえる仲間には勝る宝はないでしょう。

本日は次年度会長の時間を頂き、この機会に私の人生を少しだけ振り返ってお話しさせて頂きます。(こんな事をここで申し上げる事をお許しください。)私は幼い頃から自分の家業である葬儀業に対して周囲からの蔑視を感じていました。しかし、祖父から受け継いだ父の背中を見ながら、世の中に無くてはならない仕事であると感じて、将来は家業を継承するという事を心に決めておりました。大学を出て少しだけ遠回りをして、27歳で家業に戻ったとき、家業は旧吉備町を拠点として従業員は2名、父と母と私で年間100人ほどの方をお送りしていました。その後、その同業者の営業権を譲り受け(M&A)、株式会社を設立しました。30歳でした。その頃から父は経営を徐々に私に任せ始めていましたが、株式会社設立や、売り上げの管理、経営方法など、全く経験のない私は手探りで何とか会社を回していました。仕事はM&Aによりエリアが倍以上になり、件数も年間約200人のご葬儀を行うようになった中で、経理処理や事務仕事は夜中まで続き、寝る間もなく働きました。

仕事の横のつながりが極端に少なかったあの頃、何とか技術や葬儀の質を上げたいと考え、和歌山市内の大手葬儀社の門を叩き、情報収集に励みました。幸い若さゆえに許され可愛がられる事が多く、色々な事を教えて頂きました。制服も無かったあの頃、人材募集のやり方も知らなかったあの頃、本当に何をすることも改善の繰り返しでした。そんな悪戦苦闘を見ていた大手葬儀社の担当者が国家公務員の指定葬儀社にならないかと誘ってくれたのがきっかけで、更に多くの方々と知り合うことが出来ました。今後は葬儀場の時代が来る事に気付かされ、和歌山県下でも最速で式場を建設できたのも情報の力でした。そんな中で和歌山県の葬儀業にも、もっと情報が必要だ、との思いから和歌山県内の葬祭業の協同組合を設立しました。加入してくれた仲間たちは順調に業界のトレンドを取り入れ、各地域の一番店として今も確固たる地位を築かれています。

その後、会員制度の導入や式場の建設、関連事業の内製化によるワンストップ戦略等、お客様の便益を考えながら事業を展開していきました。2008年、社名をオレンジライフに変更し理念経営に取り組んだ事と、地域貢献型のイベントなどを盛り込んだスタイルでエリアシェア率80%の「地縁型葬儀社」として全国から注目を浴びました。気付けば年間600人をお送りする社員70名の会社になっていました。また、8年前より京都にて全国の葬儀社や看護師、介護福祉士の皆様に向けて、死別の悲しみに寄り添う学問の学びの場「京都グリーンケア協会」を立ち上げライフエンドに関わる皆様の向上を図っています。最近では葬儀の本質を取り入れた現代型の共感葬儀というブランドが認められ、経済産業省の「羽ばたく中小企業・小規模事業者300社」に選んで頂きました。思えば、幼少の頃のあの職業蔑視の体験が、業界の地位向上を願い、結果的にはお客様の信頼に繋がっているのだと考えると、私のこの25年間の人生はロータリーの職業奉仕の精神に基づく会社運営であったのだと気付かされます。時を同じくして30代前半から商工会青年部やJCにも入会させて頂きながら地域の問題に取り組ませてもらう機会が多く、そのような経験も今の事業に活かされています。最近では特に有田川町のまちづくりの一部

に携わることで、まちの魅力は人であることや、アクションを起こすことは無駄ではないと実感しているところです。ロータリーの社会奉仕の理念そのものでもあります。

今回、このような自分分析が出来たのも、ロータリーに入会し、ロータリーの精神と自分を照らし合わせてみて、本当に生き方に間違いはなかったのだという確信を持っていたからです。これからも先輩たちのようにロータリーとともに成長して行ければと強く望んでいます。

私が今いちばん危惧していることは、コミュニティの崩壊、人の繋がり、の気薄化、それらと相まった人口減少問題です。何もしなければ地域は衰退の一途を辿ることは間違いありません。そうなれば地元でのロータリー活動も難しくなるのではないのでしょうか。最近の人口推移予測を見ても15年後には有田市の人口は2万人を割り込んできます。(国立社会保障・人口問題研究所の予測より)おそらく日本の人口減少を止めるのは厳しいものがあるでしょう。

檜畑ガバナーは地区基本方針の中で「我が国は、国際的環境に加え、少子高齢化、過疎と過密、市場の縮小化など独自の課題を多く抱えて閉塞感が漂うばかりです。地方はより厳しく、私たちに出来ることは、ただ現実への対応に力を尽くすだけかのように思えてきます。」とした上で「持つべきは、現実を直視し、そのなかで確信するに至った理想を胸に、現実と真正面から立ち向かい、挫けることなく、少しでも世の中を変えていこうとする姿勢です。」と述べています。正に、このような問題に目を背ける事なく、ロータリーとして何が出来るのか？会員が真剣に考え取り組んでいくことが、有田ロータリークラブの歴史を重ねていくことに繋がるのだと考えます。

最近の頑張る田舎の傾向を見てみると、田舎であっても特徴を出して楽しいまちにすれば人が集まっています。大都市集中型の人口構造も長くは続かず、自然や人の暖かさに共感を覚える若者も増え始めていることは事実です。そして私には手応えがあります。「仲間づくりは地域づくりに成る」ということが実感出来ているからです。地域が衰退すればロータリーの存続もあり得ません。健全なロータリー活動が出来ている今のうちに自分たちの足元を固めておく事が必要ではないのでしょうか。

次年度RI会長 バリー・ラシン氏は1月の国際協議会にて「私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」と述べました。そして「インスピレーションから始めてください。ロータリアンの魂、すなわち、より良い世界への切望、そして、より良い世界をつくることは可能だという、心の奥底にある真の自覚を呼び起こすことから始めてください。」と提唱しました。(MY ROTARY参照) 私はバリー・ラシン会長のスピーチから有田ロータリークラブにおいても共感出来る次の5つのメッセージを受け取りました。

1. 会員の変化を生み出す事への意欲を引き出す。
2. 地域社会や世界の若い世代のやる気を引き出す。
3. 奉仕における持続可能性を追求する。
4. ソーシャルメディアを最大限に活用して、メッセージを

発信する。

5. これからやってくる変化に対する回復力がある地域社会を築いていく。

そして、このメッセージを活用し地域課題に向けた次の事業を実践していきたいと考えます。

- ①近年、有田ロータリークラブには素晴らしい資質を備えた会員が多数入会してくれています。会員の方々に、ロータリーについて深く理解して頂き、60年の歴史を振り返り、その上でロータリーを楽しんでもらいます。楽しむということは責任をもってクラブに関わり成果を出すということです。特に事業が過密する本年度のクラブ運営や事業を通し、ロータリーの真髓を積極的に短期間で学ぶことができるはずです。入会間もない会員の方々に「やりがいと達成感から楽しんでもらう」ことで、これからの有田ロータリークラブの即戦力とし、クラブのパワーアップを図ります。

- ②地域の若者が積極的に地域活性化に取り組むコミュニティへの参画意識を持てるように、楽しくまちを考える機会をあたえる事が出来る事業を考えています。これからの時代を担う地域の若者たちから、自分自身で有田の良さを探求し、地元愛を育んでもらうことが出来る。地元を良くするためには何が必要で、少しでも自分が関わったという実感を持たせたい。今後、学びの場は地元を離れようとも将来的には地元に戻り生活し活躍したいと願うはず。若者たちに、年齢や価値観の異なる大学生や大人達とともに行うまちづくりコミュニティの重要性と地域活性化の楽しさを知ってもらいながら、育成ができればと考えます。

- ③卓話を通じて地域活性化の役割を担う多くのリーダーや団体の方々と交流することで、地域の問題や活動をより知ることが出来ます。そして、有田ロータリークラブが中心となって活動者や団体を結びつけて行くことにより、活動の幅が広がります。地域全体が一つとなって持続可能な取り組みに広がって行くことを望みます。

- ④地方であっても、ソーシャルメディアのフィールドは都会と同じです。まず、志を同じくする仲間のネットワークを広げるためには、SNSを使った地元へのメッセージが必要だと考えます。そのためには有効的な事業を有効的な方法でPRする必要があります。その上で広いエリアに向けて地域の魅力や特徴をPRします。特に魅力的な事業や活動は日本中の興味を引きます。地域の観光資源や特産物などの地域特徴に加えて、大きな魅力となるでしょう。また、ロータリーそのもののブランディングはR I・地区・クラブのそれぞれの公共イメージの役割をミックスさせる事で広がります。我々のような単一クラブは地域に根付いてロータリーの公共イメージを発信させるべきです。私たちの事業が、地域の方々への警鐘ともなり、若者のやる気を引き出し、連鎖を起こせるような取り組みとなることを願います。

- ⑤昨年度、大きな成功を収めた国際奉仕事業、ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業を本年度もエリアを変え、より充実した形で継続します。昨年度の開催地を訪れ、事業後のリサーチと成果を確認し、今後の事業に生かせればと考えます。また、現地での繋がりをより一層深めるために現地のミャンマー学友

会(米山記念奨学卒業生)との協力体制も整えています。また、例会や事業を通して親睦活動も忘れてはなりません。親睦活動こそがクラブの根幹であります。親睦を十分に図り活動の根底に善意の心を持ち、超我の奉仕を実践していきましょう。そのためには常に前向きで、会員同士が遠慮するのではなく切磋琢磨し、情熱を奮い立たせロータリー活動を楽しまなければならないでしょう。

本年は有田ロータリークラブ創立60周年の記念すべき年であります。上記事項の実現に向けた数々の事業を全会員が楽しみながら各事業を通して60周年を心からお祝いできるムードを創って参ります。地域社会が大きな変化を余儀なくされている時代に、有田ロータリークラブはどう立ち向かっていくのか? 75周年へ向け、何かを提唱できる年になればと願っています。

そして、本年度のクラブターゲットは**Take Action and Enjoy! 行動を起こそう! そして楽しもう!**です。

有田ロータリークラブは地域の方々と手を取り合いながら、ロータリーから生まれた少しのインスピレーションを地域に広げることを目指して行動を起こしていきたいと願うのです。大きなうねりに、ただ立ち尽くすのではなく、自分たちに出来る限りの行動を起こそうではありませんか! 行動の後には充実した笑顔があることを信じて。

委員会別の活動については本日時間がないため個別にお話ししたいと思います。現在のところ計画している主な事業や予定についてお知らせします。

□ **ロータリーデー 7月26日(木)・8月25日(土)**

事業名: 大人たちへの政策提言「僕らが有田を楽しいまちにする」

開催期間: 7月26日～8月25日 その後、成果物を活用する 1)説明会:7月26日(木)例会にて 2)プレゼンテーション選考会:8月25日(土)13:30～15:30

開催場所: 有田市文化福祉センター

参加予定人数: 有田市の中学生・有田郡市の高校生を対象に40～70名、和歌山大学 観光学部 木川ゼミ、地域ボランティア、有田ロータリークラブ会員

開催主旨: 有田ロータリークラブの記念すべき60年を迎えるにあたり、地域の若者を対象とした社会・青少年奉仕事業を企画いたしました。現在の有田の環境は高齢化と人口減少が益々加速度を上げつつあります。地域を元気にするために地域の若者が積極的に地域活性化に取り組み、楽しくまちを考える機会を持つていただくために、地域の中学生・高校生を対象にまちづくりコンテストを開催します。自分自身で有田の良さを探求し、地元のために何が出来るのかを考えることで自然と地元愛が芽生えるはず。そして将来的にも有田で生活し活躍したいと考える地元志向を学生時代に根付かせていくことも人口減少対策のひとつだと考えます。若者たちに、年齢や価値観の異なる大学生や大人達とともに行うまちづくりコミュニティの重要性と地域活性化の楽しさを知ってもらいながら、育成ができればと考えています。

実施内容: 事前に中学・高校への募集を行い、参加グ

ループを募ります。参加グループに対して夏休みの7月26日に和歌山大学観光学部 木川研究室の指導のもとワークショップを行い、学生たちが考えた企画が充実した成果となるように指導します。その後、学生の動きや相談に大学ゼミ生やロータリークラブ会員がフォローし、8月25日に各グループに出来上がった企画をプレゼンテーションしてもらい、実際に使用し、まちづくりに役立つ企画に対して優秀賞を与えます。

優秀賞はさらに使えるツールとするために完成度を高めて、市や紀州有田商工会議所、観光協会等で地域振興にご活用いただきたいと考えます。そして、当会の60周年記念事業で成果物を表彰します。

- **クラブ協議会 8月30日(木)**
- **3クラブ親睦ゴルフコンペ主催 9月23日(日)**
- **夜間家族例会 9月27日(木)**
- **ガバナー公式訪問 10月11日(木)**
- **地区大会 10月27日(土)・28日(日)**
- **第2分区IM 主催 11月17日(土) 有田市文化福祉センター**
- **ミャンマー国際奉仕事業 11月20日～25日頃**
- **60周年記念親睦家族旅行 12月2日(日)**
- **新春夜間例会 1月10日(木)橋家**
- **ローテーションデー 1月31日(木)**
- **法要例会 4月4日(木)**
- **60周年記念事業 記念式典・祝賀会 5月12日(日)** となっています。

盛りだくさんの本年度です。少し無理をさせるかもしれませんが、きっと充実した一年になるはず。笑顔で行動していきましょう! Take Action and Enjoy! 行動を起こそう! そして楽しもう!

非力な私ですが皆様のご協力をどうかよろしくお願いたします。

大人たちへの政策提言  
僕らが有田を楽しいまちにする!

**中学生・高校生による  
まちづくりのヒント  
募集!!**

各チームに経費を3万円までご用意  
グループは何人でも出場可能

くわしくは  
Facebookにて!

あなたたちが有田が楽しくなるような成果物を作成してきましょう!  
例えば、有田の部分の好きな場所のフォトセッション開催をつくる  
有田市のインスタ映えランキング写真集をつくる  
有田市のフルーツで作るスイーツレシピ本をつくる

**1. Workshop**  
7月26日(木)  
合同ワークショップ  
場所: 有田市文化福祉センター  
13:30～15:30  
やりたい事と思う企画について  
和歌山大学の木川ゼミ生が中心となり  
グループで相談  
作成に向けての計画を練る時間です

**3. Presentation**  
8月25日(土)  
発表会(各チームプレゼン)  
場所: 有田市文化福祉センター  
13:30～15:00  
10分程度の発表会。「なぜこの企画を選んだ、  
どんな風にやって、どこまでできたよ」を  
発表してもらい、これを発表する!となった  
企画には優秀賞を授与

**2. Build Up**  
実行期間  
計画に基づいてグループで実際に考えて制作  
していく期間です  
ある程度の成果物や、企画の趣意が大人たちに  
分かることまで考えてください

**4. Use & PR**  
実際に活用  
採用作品の内容を完成させて地域の中心で  
発表する  
有田市のPRや観光資源に活用

有田ロータリークラブ創立60周年記念地域活性化コンテスト

主催: 有田ロータリークラブ  
協力: 和歌山大学 観光学部 木川研究室  
後援: 有田市 有田市教育委員会 紀州有田商工会議所 有田市観光協会

Rotary 国際ロータリー